

Q 演劇専攻の場合、中学校までに経験が無くても大丈夫ですか？

A 大丈夫です。演劇経験がなくて入学した生徒は大勢います。「実技検査のために演技の勉強をした方がいいですか？」という質問を受けますが、これも不要です。演劇経験者が特に有利ということはありません。

Q 芸能活動はできますか？

A 芸能活動は原則として認めていません。本校は都立高校ですので、芸能活動のために授業の欠席が多くなると、年次進行や卒業ができなくなるおそれがあります。また、授業を優先するので放課後や休日に芸能活動を行いたい」という方がいますが、本校では発表会や校外学習などさまざまな行事もあります。特に発表会に向けての補講や自主練習では、集団で創り上げていく作業をくり返し行いますので、一人欠けることが全体に大きな迷惑をかけることとなります。そのため、本校では学習活動と芸能活動を両立することが、基本的に困難であると考えています。

高校生の内から芸能活動をしたいという方は、芸能活動を認めている私立の学校がありますので、そちらをおすすめします。

Q コンテンポラリーダンスコース部とダンス部はどのように違うのですか？

A コンテンポラリーダンスコース部は、舞踊(コンテンポラリーダンス)専攻者が、全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)に向けて活動しているもので、専攻の授業の延長です。ダンス部は、他科の生徒を中心とした部活動です。

Q 全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)には、コンテンポラリーダンスコース専攻者は必ず参加しなければいけないのですか？

A コンテンポラリーダンスコースでは、全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)への参加を授業の一環として考えています。舞踊(コンテンポラリーダンス)専攻を希望される方は、3年間、夏は神戸の大会に参加することが原則であるとお考えください。

大会への参加を通して、舞踊(コンテンポラリーダンス)専攻者全員で一つの作品を創

り上げることや、大会で大勢の観客の前で発表することは、舞踊を志す者としての貴重な経験となります。また、長期間にわたり努力し練習を重ねる中で生徒達は互いに切磋琢磨し、一人一人が技術的にも人間的にも格段に成長します。そのためには、放課後や夏休みに厳しい練習があります。遠征費用もかかります。ご家庭でよく相談して決めていただきたいと思います。

**Q 留学の制度について教えてください。**

**A 都立高校に相当する海外の学校**であれば、留学が認められます。留学が認められた場合は、帰国した際に約 30 単位（1 学年分）を修得したと認められます。来年度からは必修科目については留学先で履修した科目を日本での科目に置き換えて修得単位として認める制度に変わります。日本の必修科目に置き換えられない場合は単位修得のための補習を行わなければなりません。そのため、実技の補習との両立が難しくなることも予想されます。入学を希望する方は本校での卒業を目標としていただくため、在学中の留学はお勧めできません。

本校で留学希望が多いのは、クラシックバレエなのですが、**バレエ学校は留学先として認められない場合があります、その場合は休学となり年次進行できません。**

**Q 入学後、専攻を変更することはできますか？**

**A 原則として専攻の変更は出来ません。**演劇専攻・舞踊専攻とも、入学者選抜時の実力に応じてそれぞれ専門性を高める授業を組んでいます。そのため、専攻を変更すると授業についていくことができないと考えています。

専攻・コースを選択する際には、十分に検討してください。

**Q 舞台発表や観劇にかかる費用の扱いはどうなっていますか？**

**A 舞台表現科では、校外学習や各種発表会などのために普通高校にはない費用がかかります。**このため毎年納入していただく学習費に、校外学習や成果発表会のための費用が計上されています。演劇専攻では、歌舞伎や文楽、授業に関連した観劇など、年間数回舞台を鑑賞するためのチケット代をご負担いただいています。舞踊専攻でも、校外学習としての鑑賞のためのチケット代がかかります。また定期公演・成果発表会などの衣装代、レンタル代などもご負担いただいています。公演・発表会の画像 CD や映像 DVD も学習費より購入していただきます。

また、今年度は定期公演・前期成果発表会において、出演者には出演直前に PCR 検査

を受けることになりました。（後期成果発表会については未定）校外学習がコロナ禍で減った分を検査代として充てています。

## Q 新型コロナウイルス感染対策はどのようにしていますか？

舞台表現科では全ての授業において教員・講師・生徒がマスクを着用して行います。舞踊の授業においては、体育と同じ扱いとし、あまりにも暑いときなどは熱中症予防のためにマスクを外して行うこともあります。今年度はマスクを外す場面はありませんでした。

各教室は朝から窓を開け、換気を十分に行える体制で授業を始めます。授業後にはバーなど手の触れる部分は消毒しています。

公演・発表会の本番のみ出演者はマスクを外して演じます。定期公演では演劇の全ての出演者とスタッフ、前期成果発表会では演劇・舞踊共に全ての出演者が直前にPCR検査を受けて陰性を確認してから舞台に立つことにいたしました。（3月後期成果発表会については未定です。）

昨年度休講中（4～5月）は、舞台表現科ではすぐにオンライン授業を取り入れ、演劇の生徒と講師が4月からオンラインで出会うことができました。舞踊は講師が振付の映像を作成し、生徒全員にDVDを配るなどの他、レッスンのオンライン配信や双方向でのオンラインレッスンもありました。また、今年度の進路懇談会と保護者会はオンライン会議で行いました。

成果発表会のオンライン配信はセキュリティー上難しく、今のところ行う目途は立っておりません。

定期公演は一般公開ができませんでした。公演のダイジェスト（5分）を以下の学校YouTubeからご覧になることができます。（本校HPからも観ることが可能です。）

学校 YouTube  
舞台表現科紹介動画

